

平成28年10月23日
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 塩浜ジャガーズ戦

二回表、非凡なセンスと俊足でレフトへ二塁打を放った三友クラブ一番の坂本歩夢選手。

写真：レッドサンデーズ 八島久徳

青松園B ホーネッツ、先行逃げ切りの完勝

三苫ホーネッツ（10勝2敗） 3 2 0 1 1 0 7 矢野○ー広木

奈多サンデーズ（7勝3敗1分） 0 0 0 0 0 2 2 砂場●ー宮口

HR：稲葉（三苫ホ） 3BH：砂場（奈多サ） 2BH：広木（三苫ホ） 木下（奈多サ）

雨のためグラウンド状態が悪く、整備が遅れて開始されたこの試合。まずは初回、サンデーズ砂場投手は立ち上がりの制球が定まらず、ホーネッツに先頭から連続四球を与えてしまう。さらに三番矢野選手への死球で無死満塁のピンチ。ここでホーネッツ四番広木選手は、見事左中間を破る走者一掃の二塁打で3点先制。二回表、まだ制球の定まらない砂場投手は一死から連続四球を与え、さらにPBと味方エラーでホーネッツはノーヒットで2点を追加。また、四回には先頭のホーネッツ稲葉選手が右中間を破る本塁打、五回にも稲葉選手のタイムリーヒットで着実に加点し、7-0とホーネッツの一方的なゲームの予感。一方サンデーズは速球が冴えるホーネッツ矢野投手を打ちあぐね、三回までパーフェクトに抑えられる。六回に砂場選手の三塁打を足がかりに木下選手の二塁打などでようやく2点を返すが時すでに遅し。この回で試合終了しホーネッツが勝利した。ストライク先行で攻めるホーネッツ矢野投手と、制球が定まらず8死四球を与え、調子に乗れなかったサンデーズ砂場投手の差が勝敗の分かれ目だった。（記事：ソルトベイスターズ 田中裕次郎、写真：酒井哲郎）



力投するホーネッツ矢野投手。



豪快な投球のサンデーズ砂場投手。



ランナーを牽制しながら送球するサンデーズ江口二塁手。



今日はこういうのが多かったサンデーズ宮口捕手。



小技も交え何とかしたいサンデーズ川上選手。



本塁打とタイムリーのホーネッツ稲葉選手。



五回表、ホームインするホーネッツ隈崎選手。



本日大活躍のホーネッツ稲葉選手。

青松園A 初回が全て・・・

三友クラブ (6勝5敗) 9 3 0 2 1 4 足達○、平田一谷崎

塩浜ジャガーズ (5勝5敗1分) 0 1 0 2 3 荒木●、内田、道喜一橋村

HR: 野中 (塩浜ジ) 2BH: 松尾2、坂本、広瀬 (三友ク) 藤川 (塩浜ジ) 盗塁: 坂本2、尾澤 (三友ク)

外野に水溜りが残る肌寒い中で試合開始。一回表三友クラブは、塩浜ジャガーズ先発の荒木投手の大乱調で三者連続四球後、WPと四番中内選手の左前適時打にエラーが絡み3点を先制すると、六番松尾選手、七番広瀬選手、八番山本選手の連打に四死球とまずい守備が重なり計9点を挙げる。続く二回表、一死から松尾選手が二打席連続二塁打を放つと、相手エラーと八番山本選手の中前打、一番坂本選手の技あり左翼線二塁打などで3得点。三回はジャガーズ三番手道喜投手の軟投に三者凡退に抑えられるも、四回表には七番広瀬選手がお手本のように右二塁打を放つと四球とバント処理ミスで無死満塁として、二番尾澤選手のこの日3つ目の死球と三番平田選手のライトゴロの間の得点で2点を挙げる。初回から大きなビハインドを背負ったジャガーズは、二回に六番野中選手の左中間ソロHRと最終回に意地の2点を返すに留まり、14-3の四回10点差コールドで三友クラブの勝利。「初回が全て・・・」と敗れたジャガーズ水流監督の弁。三友クラブは若手からベテランまで声も出ていたし、寒さに負けないハツラツプレーが印象的だった。(記事・写真: レッドサンデーズ 八島久徳)



初回から2盗塁でチャンスメイクする一番坂本選手。



タイムリーの三友クラブ四番中内選手。



一死から適時二塁打の六番松尾選手。



連打で続く七番広瀬選手。



満塁から三番平田選手の2点タイムリーで9点目。



二回表、二打席連続安打で出塁の八番山本選手。



技ありの左二塁打を放つ一番坂本選手。



安定の投球、三友クラブ足達投手。



二回裏、六番野中選手ヘッドスライディングでHR。



盛り上がるジャガーズベンチ。



生きのいい投球を見せる三友クラブ二番手、平田投手。



四回表、巧く右二塁打を放った広瀬選手。

奈多グラウンド 好投手対決、奈多クラブが制す

新町ウインズ（6勝5敗） 0 0 0 0 0 0 0 0 藤田●ー今林（孝）

奈多クラブ（9勝1敗1分） 0 0 0 2 0 1 × 3 今林（瑠）○ー安河内

新町ウインズは藤田投手、奈多クラブは今林瑠生投手とリーグ屈指の好投手同士の対戦は奈多クラブが制した。一回表ウインズは、剛速球を低めに集めた今林瑠生投手の前に二死三塁のチャンスを作るも無得点に終わる。対する奈多クラブはその裏、2四球でチャンスを作るもウインズ藤田投手の気迫の投球の前に無得点に終わる。その後もコントロールよく投げる今林（瑠）投手と荒れ気味ながらも気迫の藤田投手の力投により三回まで好投手対決にふさわしい0行進が続いた。試合が動いたのは四回裏、奈多クラブは七番江里口選手のヒットでランナーを出しその後送りバントとWPで一死三塁のチャンスを作ると九番今林（賢）選手の犠牲フライで先制する。さらに一番今林（祐）選手、二番今林（瑠）選手の連続ヒットでさらに1点を追加し、この回2点を先制する。さらに六回裏には相手のミスで1点を追加した。反撃したいウインズだが反撃敵わず結果的に0-3で奈多クラブが勝利した。奈多クラブは好投手を相手に小技を混ぜ得点を重ねた。またこの試合、守備にもいいプレーが見られ好投した今林（瑠）投手を盛りたてた。ウインズは敗れたものの攻撃面ではチャンスはいくつかあり、好投手を相手にあとひと押しだった。守備の面では先発、藤田投手を軸に強打の奈多クラブを3点に抑えた。

（記事・写真：ブルーマリーナズ 井手翔一郎）



好投手を擁した両チームの整列。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



新町ウインズ先発の藤田投手。



強打対剛腕、手に汗握る対決！



四回裏、均衡を破った奈多クラブベンチが盛り上がる。

雁レク4 ライナーズ最終回怒濤の追い上げも・・・フェニックス勝利！

奈多フェニックス（8勝1敗2分）010310 5 今林（勇）○-実延（新）

雁ノ巣ライナーズ（5勝5敗2分）000004 4 有馬●-明瀬（航）

HR：明瀬（航）（雁ノ巣） 2BH：西藤、今林（勇）、高原、実延（新）（奈多フ）

盗塁：高原（奈多フ）明瀬（旭）（雁ノ巣）

初回、両投手ともに上々の立ち上がり。フェニックス二回表の攻撃、五番能丸選手がセンターへの安打で出塁すると、九番今林（心）選手のライトへの当たりをライトエラーでフェニックスが幸先よく先制。フェニックス四回表二死から七番実延（彰）選手、八番高原選手、九番今林（心）選手、一番西藤選手の連続安打により3点を追加し好投の今林（勇）投手を援護するフェニックス。さらに五回表、この回先頭の三番今林（勇）選手、四番実延（新）選手の連続二塁打で1点追加点を挙げる。ライナーズ有馬投手は後続を3人で絶つも六回を投げ5失点。一方のライナーズは、五回までフェニックス今林（勇）投手の好投に阻まれ2安打得点なし。このまま終わるかと思われた最終回、先頭の一歩明瀬（旭）選手がライト前ヒットで出塁、思い切りのいいスタートで盗塁！無死二塁とすると。二番国崎選手がサードへの内野安打で出塁！三番中口選手は三振するも四番宇野選手が四球で出塁し一死満塁。五番久保田選手は惜しくもサードフライに倒れ、二死満塁。ここでゲームセットかと思われたが、ここで六番明瀬（航）選手がライトオーバーの満塁HRでライナーズ1点差まで追い上げる！！しかしフェニックス今林（勇）投手がライナーズ有馬選手をセカンドゴロに打ち取りゲームセット！ライナーズ最終回に怒濤の追い上げを見せるも、フェニックス5-4で勝利となった。

（記事・写真：和白新町パイレーツ 中島孝志）



好投を見せたフェニックス今林勇太投手。



粘りのピッチング、ライナーズ有馬投手。



四回表、適時二塁打を放つフェニックス一番西藤選手。



最終回代打で見事にセンター前に運んだ今林誠選手。



最終回、満塁HRを放つライナーズ六番明瀬（航）選手。

第20週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

システム障害から何とか回復出来て、胸を撫で下ろしています。

10月23日は4試合が行われました。

青松園Bの三苦ホーネッツ対奈多サンデーズ戦は、サンデーズ先発砂場投手が3連続四死球からの四番広木選手の走者一掃二塁打で先制したホーネッツがその後もコントロールの定まらない砂場投手から7点を奪うと、投げてはホーネッツ矢野投手が最終回に2点を取られたものの完投で7-2と勝利。ライバル同士だった両チームだが、今回は力の差を感じずにはいられなかった。

青松園Aの三友クラブ対塩浜ジャガーズ戦は、こちらもジャガーズ先発荒木投手が三連続四球を出すと、左入クラブ四番中内選手のタイムリー、一死から六～八番の連打等で初回から9点を先制すると、攻撃の手を休めずジャガーズ3投手から計14得点。対するジャガーズは、野中選手がソロHRを放ち、最終回も2点を返し粘りを見せるが、14-3で結局四回10点差コールドゲーム。

奈多グラウンドの新町ウインズ対奈多クラブ戦は、スコアから見ると投手戦のようだが、両チーム毎回のようにスコアリングポジションにランナーを進めるがあと一本が出ない。四回裏に今林誠選手の犠飛で先制した奈多

クラブはこの試合長打が出なかったが3点。この3点を奈多クラブ今林瑠生投手が守りきり0-3で奈多クラブの勝利。

雁レク4の奈多フェニックス対雁ノ巣ライナース戦は、フェニックスが二回に先制すると着実に点を重ね5-0とするも、最終回ライナースは意地を見せ二死満塁とすると、六番明瀬航選手が満塁HRを放ち1点差とするもここまで。終始攻め続けたフェニックスが辛くも勝利を収めた。

この週は投手の四死球が目立つ試合が多かった。大量点の要因には連打より四死球の方が占める割合が多い。特に打力のあるチーム相手に四死球を連発してしまっは・・・。

投手は勇気を持って、バッターと勝負してほしいと思いますし、その結果の四死球なら仕方がないかと思ます。

しかし、準備不足での四死球連発では試合を作れない、リズムも悪い、試合展開が遅くなるといいことなし。

先発を任されるからにはそれ相応の準備をしていただきたいし、各監督は事前に告げておくことをお勧めしたい。

日本シリーズは両チーム共に地元で勝利を収め、3勝2敗で舞台は広島へ。

内弁慶シリーズの様相ですが、二刀流大谷選手や今季で引退を表明している黒田投手の活躍が気になります。

両チーム共に死力を尽くした素晴らしい試合を期待したいですね。